

1. 直近の動き

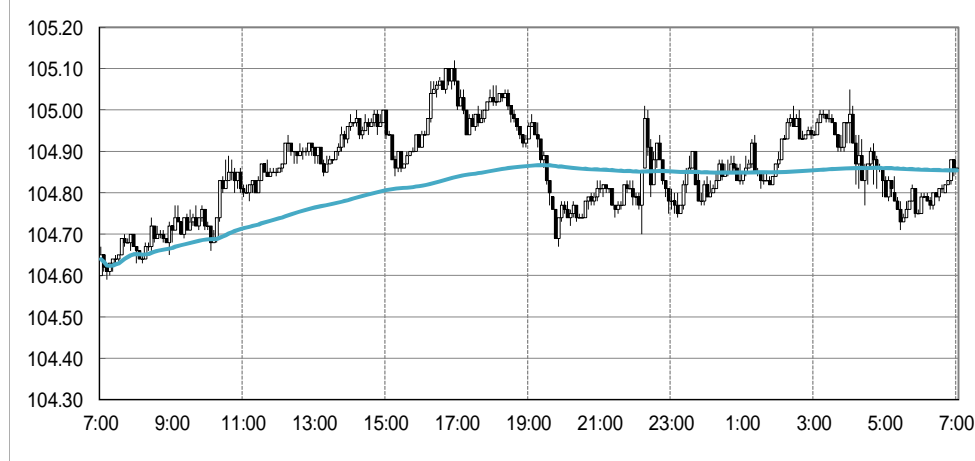
1日の取引開始時刻=日本時間午前7時

'マンガ'投資の心理学: (ハンローリング)発売中

日付	始値	高値	安値	終値	前日比[A]	変動幅[B]	トレンド性[A/B]
1月8日	104.60	105.12	104.59	104.86	+0.26	0.53	49%
1月7日	104.22	104.74	104.17	104.60	+0.38	0.57	67%
1月6日	104.88	104.95	103.91L	104.22	-0.64	1.04	62%
1月3日	104.81	104.89	104.08	104.86	+0.05	0.81	6%
1月2日	105.25	105.44H	104.55	104.81	-0.44	0.89	49%
直近5日間	105.25	105.44	103.91	104.86		1.53	

2. 場況 (5分足と時間加重移動平均、日本時間、概算値)

時間加重平均(5分足、終日、概算値): 104.85



4. 日足チャート [円/日、円]

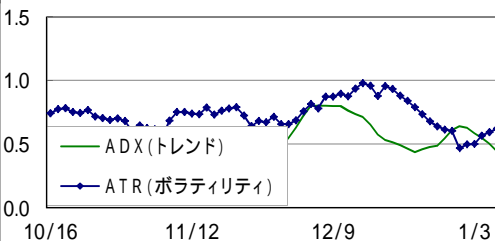
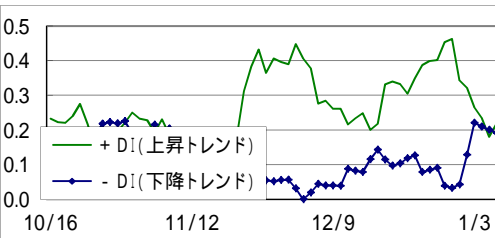
移動平均	傾き	乖離	
3日	104.56	+ 0.00	+ 0.30
5日	104.67	- 0.08	+ 0.19
10日	104.90	+ 0.04	- 0.04
15日	104.68	+ 0.04	+ 0.18

ボリンジャーバンド

本日の上限: 105.95 下限: 103.87
(昨日水準: -0.13、幅: 1.33円/縮小)



DMI



3. コメント

* 下記予想レンジはテクニカル分析に基づいて予想。

本日予想レンジ	104円50銭 - 105円30銭
---------	-------------------

小幅反発。しかし日足は前日のレンジ(103円91銭-104円95銭)の範囲内に収まった。基本的には105円44銭(1/2)をトップとした調整局面が続いていると判断。週足チャートは上昇トレンドを維持。中長期トレンドフォロー派はロングキープで。日足チャートは売り買い交錯。ボリンジャーバンドの幅も目立った縮小/拡大の様子はみられない。当面はトレンドレスなしいは弱いレンジ相場を想定。中短期スタンスの投資家は104-105円前後を中心としたレンジトレードか。10日に米雇用統計発表を控えていることから、特に短期スタンスの投資家は発表前には確実にポジションを手仕舞っておきたい。

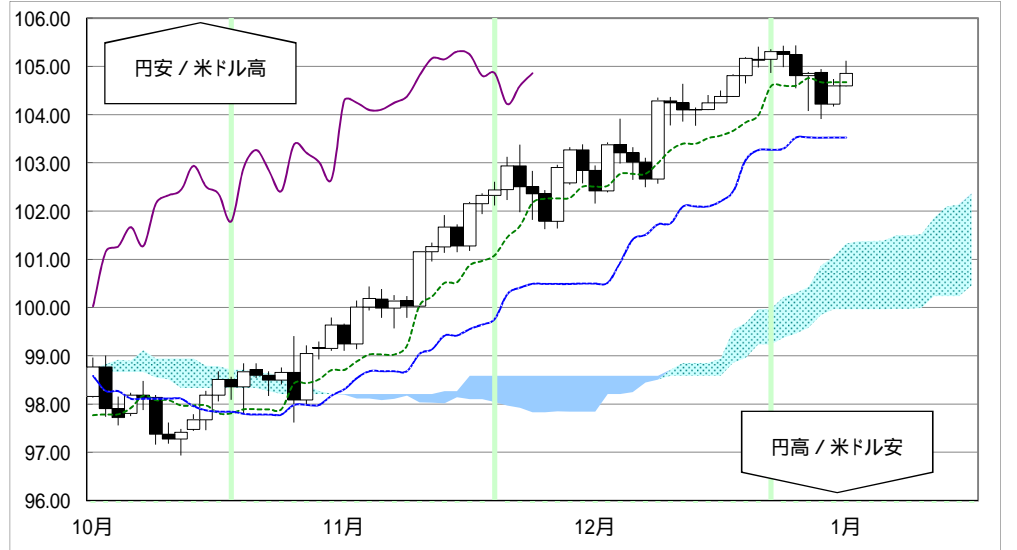
今後の予定

日本時間(24時間表記) 政策金利 = 'フェデラルファンド (FF) 金利誘導目標'

1/9 4:00 12月17-18日開催分のFOMC議事録公表
1/9 5:00 11月消費者信頼感指数 1/10 22:30 12月雇用統計

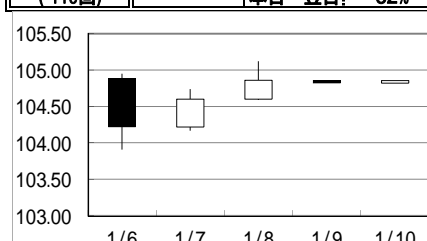
政策金利	0.00-0.25%
資産買入枠	750億ドル
次回会合	1月30日

一目均衡表 雲上限: 101.34 雲下限: 99.98 転換線: 104.68 基準線: 103.54



パターン分析

本日終値	104.86	翌日終値	104.85
出現回数 (110回)	48%	本日 翌日	52%



5. 週足チャート(移動平均)

[長期]: 101.68/ 上昇トレンド
移動平均は13週[長期], 52週[超長期] [超長期]: 98.42/ 上昇トレンド



本誌は情報提供を唯一の目的とし、明示的にも黙示的にも、証券の募集若しくは売出または顧客からの買付の申込みの勧誘、もしくは顧客に対する売付けの申込みを意図するものではありません。情報の正確性、確実性を含め、何らの保証するものでもありません。
本誌に記載される評価は過去の一定期間のシミュレーション等に基づいたものであり、将来の投資成果等を保証するものではありません。投資判断にあたっては、必ず当該証券の発行にあたり作成された目論見書及びその他の入手可能な情報をご参考にして下さい。
取引に伴うリスク、及びお客様にとって妥当なものか否かに関する判断は、お客様が自己の責任に基づき独自にご判断下さい。また、取引に関する法律上、税務上、会計上の取扱いについては、お客様の責任において、それぞれの分野の専門家にご相談下さい。